

瀬戸内フレカッ ピーちゃん通信

Vo.54
2024.8月号

山佐フロンティア(株)
金岡事業所 川池 寿人
TEL 086-948-2053
FAX 086-948-0108

素数ゼミと思い出の味

こんにちは。毎日暑いですね。

パリオリンピックも佳境に突入し、もうちょっとすると夏の甲子園が始まります。40度に迫るような酷暑の中、高校球児や応援する学生の姿を見ていると良く頑張るなと感心するのと同時に心配になってきます。個人的にはドーム球場でやれないのかと思いますが、夏の風物詩のような行事で変更できないのでしょうか。

街中どこでも蝉の鳴き声でうるさいですね。これまた日本の夏の風物詩なので珍しくないのですが、アメリカは地域にもよりますが街中でジージーやかましい、なんてことはそれほどありません。

しかし周期ゼミと呼ばれる13年周期と17年周期に羽化する蝉が大量発生するので、その時は害虫の扱いを受けます。

この13と17の数字の最小公倍数が221になるのですが・・・なんと2024年は二つの周期が重なる221年に一度の周期ゼミブレイクの年になるのです。別名で素数ゼミと言うらしいです。

その数たるやすさまじく、何十億匹にもなりとんでもない数です。蝉を英語で「シケイダ」終末戦争を英語で「アルマゲドン」それを併せて「シケイダゲドン」と呼ばれて話題になっているとか。

セミの形をしたケーキやセミの目の色をした赤いカクテル、ぬいぐるみなどセミグッズを販売する便乗商法も盛んなようです。メディアも国民も一緒に盛り上げ、害虫でさえも活用するのはアメリカ人の良いところかも知れません。ポジティブな国民性がアメリカ経済を建国以来ずっと右肩上がりしている一因なのでしょう。

先日定期健診がありました。終了後、昼食にサンドイッチを病院のレストランで頂いたのですが、子供の頃に母が作ってくれたサンドイッチを思い出す味でした。本当にシンプルでチーズとレタス、ハム、半熟のスクランブルエッグが挟んであるようなものでしたが、懐かしく思いました。高齢と言うこともあり作ってくれと頼むわけにもいかないので健診は嫌ですが、あのサンドイッチを食べる楽しみは出来ました。こんな話を社内ですていたら、皆思い出の味のエピソードを色々教えてくれました。祖母が作ってくれた漬け物。白菜の漬物をミルフィーユのように重ねて、そこに昆布などを挟み込んでとても美味しかった思い出があるそうです。親戚中に尋ねても誰も再現できないようで幻の味です。祖母の漬けた茄子の辛子漬けのエピソード。小学生の頃に食べたそうですが、辛子の辛みの中に微かに甘みがあったそうです。とても美味しく子供でも食べていたとのこと。やはりこの味は祖母しか作ることは出来ず、幻の味となってしまったようです。また子供の頃家族みんなで餃子を作って食べたのが楽しかった思い出だったと語ってくれた方もおられました。父が材木屋で忙しい中一緒にやってくれて嬉しくて美味しく感じたそうです。皆さんも思い出の味があればエピソードを教えてください。それではまた。



ピーちゃんの つぶやき

熱中症に気を付けて！水分補給も勿論だけど基本はエアコンをすることでちゃん！